

F SPORT PARTS (TRD)**MS343-50006/7/8****リヤディフューザー****取付・取扱要領書**

この度はF SPORT PARTS (TRD) リヤディフューザーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MS343-50006-A0	ホワイトノーマルガラスレック (083)	LS '20.10 ~	
MS343-50006-C0	ブラック (212)		
MS343-50006-C1	グレアイトブラックガラスレック (223)		
MS343-50007-NP	未塗装品		
MS343-50008-C0	共通品 ブラック (212)		

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

※本製品は TRD スポーツマフラーと同時装着になります。

■ 構成部品

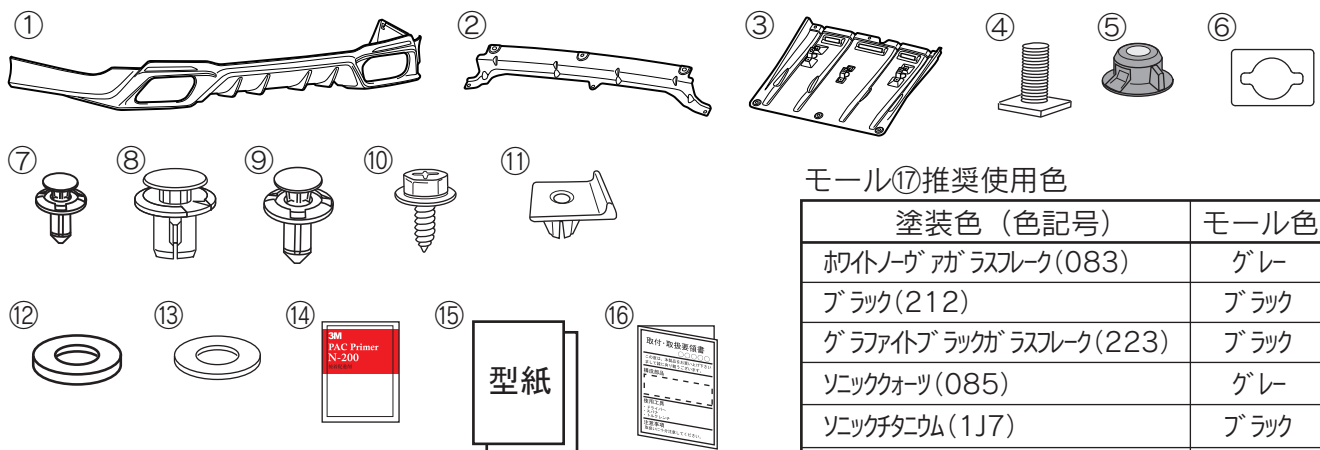
No.	品 名	数 量	備 考
①	リヤディフューザー	1	
②	別ピース	1	
③	アンダーカバー	1	
④	スクエアヘッドボルト	2	
⑤	クリップナット	2	
⑥	樹脂ワッシャー	2	
⑦	クリップ A	3	
⑧	クリップ B	9	
⑨	クリップ C	4	
⑩	タッピングスクリュー	3	6×16
⑪	グロメット	3	
⑫	ゴムワッシャー	2	
⑬	ワッシャー	2	
⑭	PAC プライマー	1	N-200
⑮	型紙	2	
⑯	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS343-50007-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品 名	数 量	備 考
⑰	モール	ブラック: 2 グレー: 1	ブラック / グレー L = 1575mm
⑱	クッション	1	L = 60mm

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

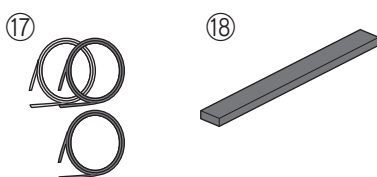
■ 構成部品図



モール⑰推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイトノグ アガラスフレク(083)	グレー
ブラック(212)	ブラック
グ ラファイトブラックガラスフレク(223)	ブラック
ソニックオーツ(085)	グレー
ソニックチタニウム(1J7)	ブラック
マンガニラスター(1K2)	ブラック
ソニックイリジウム(1L2)	ブラック
銀影ラスター(1L3)	ブラック
レッドマイカクリスタルシャイン(3R1)	ブラック
ソニックアゲート(3U3)	ブラック
ヒートブルーコントラストレイリング(8X1)	ブラック
ディープブルーマイカ(8X5)	ブラック

以下、MS343-50007-NP（未塗装品セット）のみに同梱



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取付上のご注意（取付作業の方へ） 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 4
4. 取付準備、取付要領 4～16
5. 取付完了後の点検・注意事項 16

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・エアソー・ヤスリ・保護メガネ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/8.0mm/10.0mm）・ホールソー（20mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・ ホワइटガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

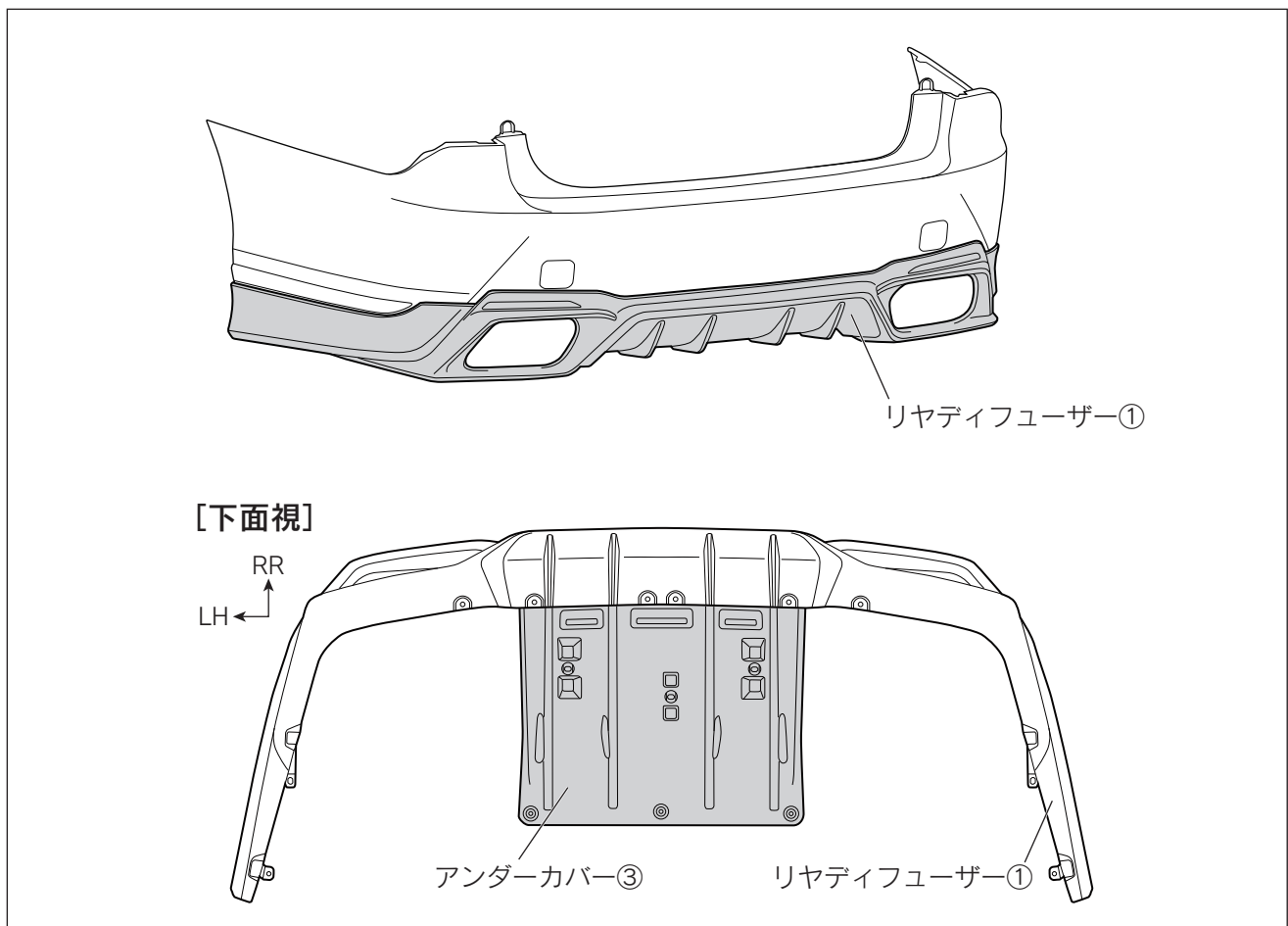
本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。

（1年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



塗装済み品の取付けは、7ページ【リヤディフューザー取付準備】に進み作業を行なってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

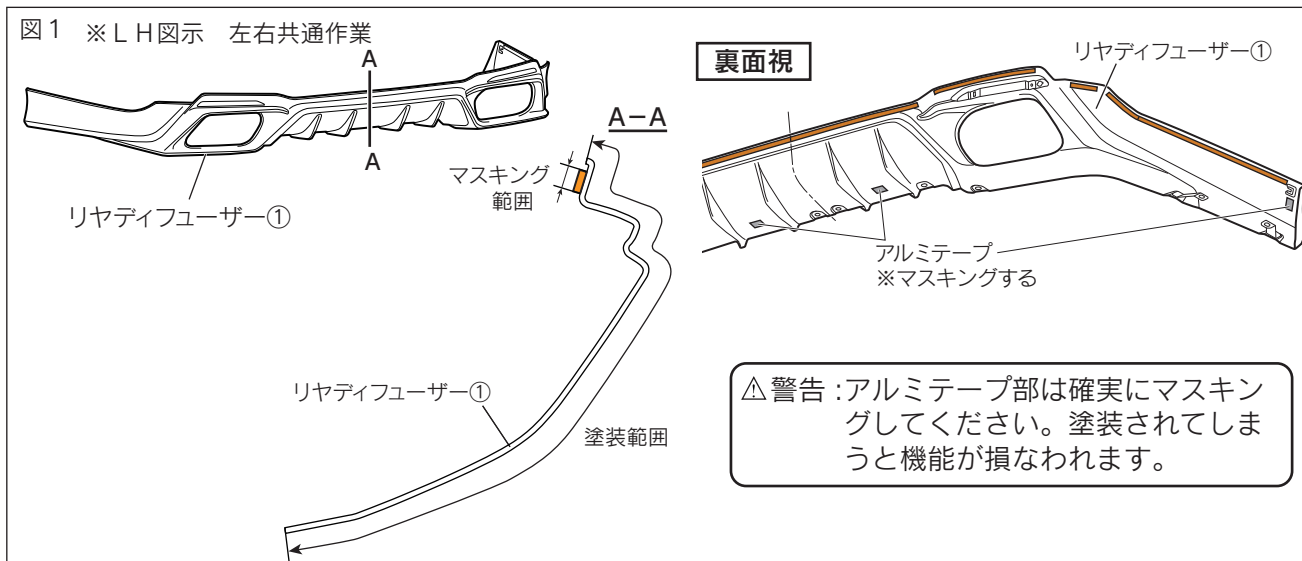
下記は未塗装品 (MS343-50007-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△注意:本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ リヤディフューザーの塗装

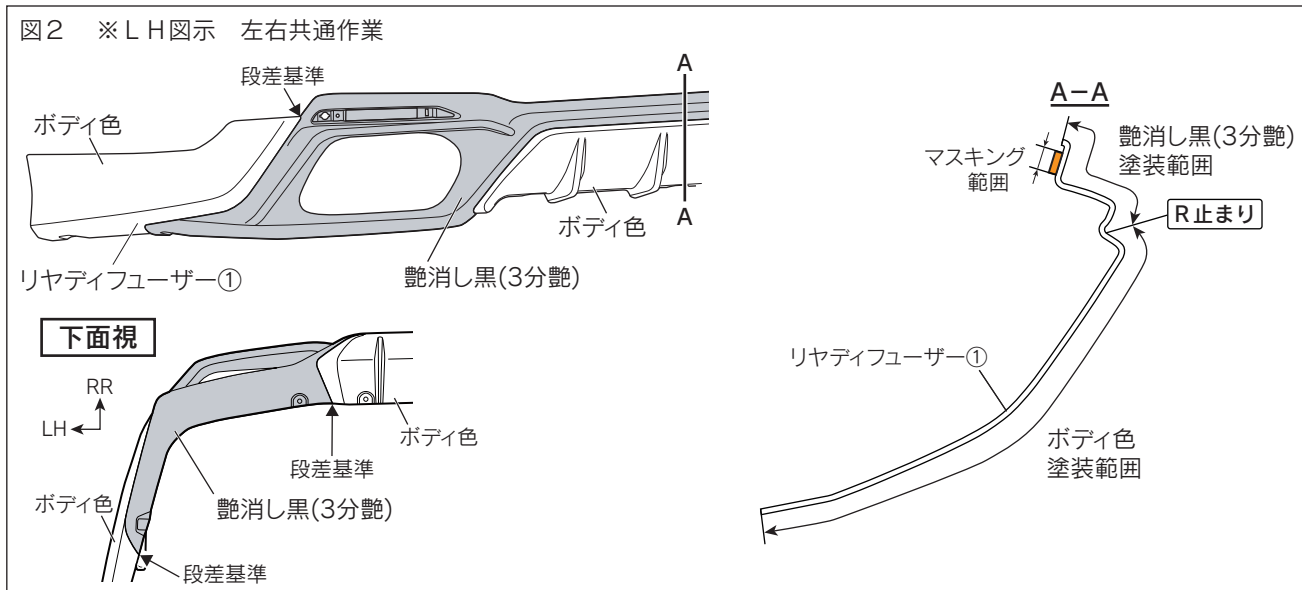
1. 図1のようにリヤディフューザー①を車両色で塗装する。



△注意:乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告:両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

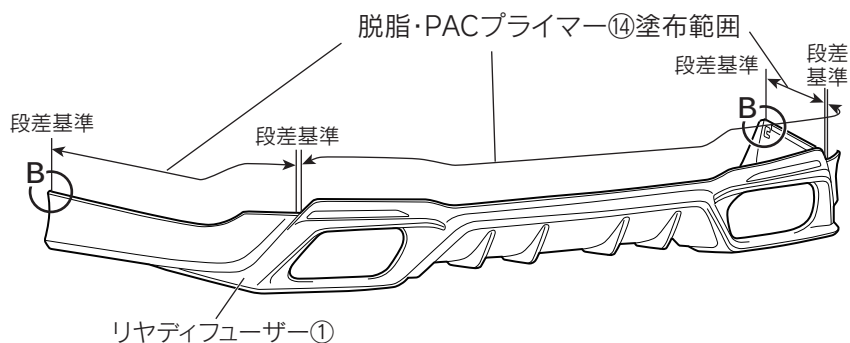
2. 図2のようにリヤディフューザー①を艶消し黒(3分艶)で塗装する。



□ モール、クッションの貼付け

1. 図3のようにモール貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、PACプライマー⑭を塗布する。

図3 ※LH図示 左右共通作業



【B部】

脱脂・プライマー
塗布範囲
段差に合わせて
塗布の事

【断面図】

脱脂・プライマー
塗布範囲

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

△注意：PAC プライマー N-200 はリアディフューザー取り付け時に再使用します。揮発性が高いため、速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

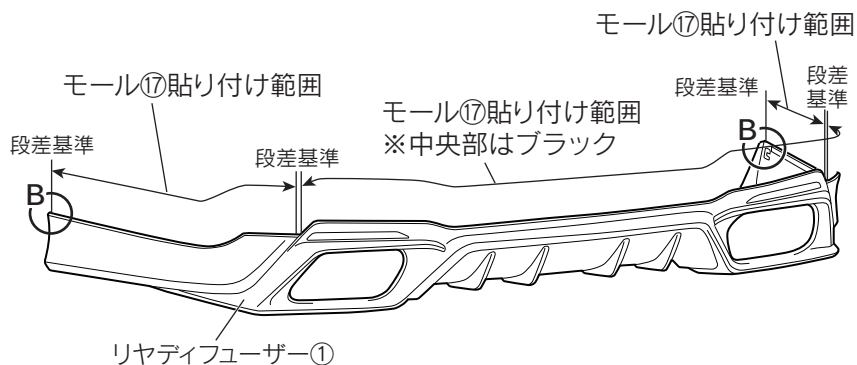
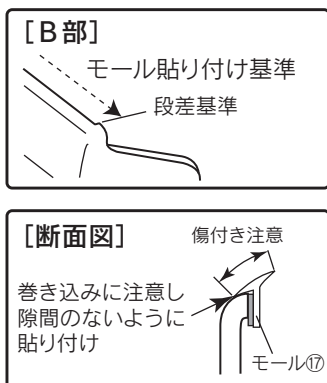
👉 アドバイス：脱脂後は、10分程度乾燥させてください。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

2. 図4のようにリアディフューザー①にモール⑰の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

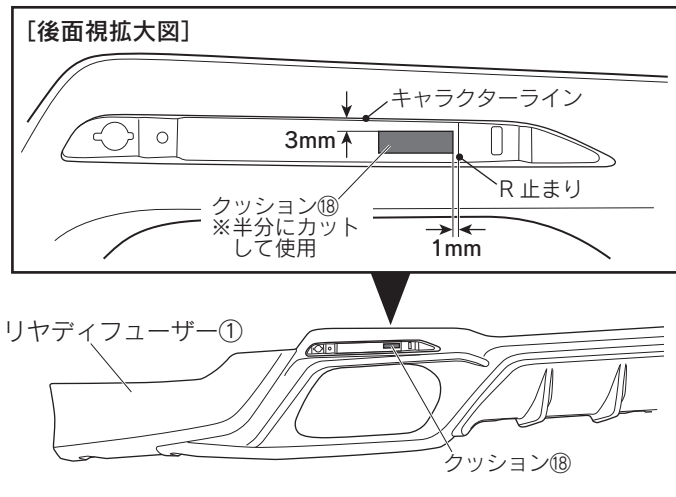
図4 ※LH図示 左右共通作業



△注意：モール⑰は、二色同梱されています。塗装色に合わせてモール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

図5 ※LH図示 左右共通作業



3. 図5のようにクッション貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで方向に拭いて脱脂し、クッション⑱を貼付ける。(左右各1箇所)
 ※クッション⑱は半分にカットして使用してください。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ リヤディフューザー取付準備

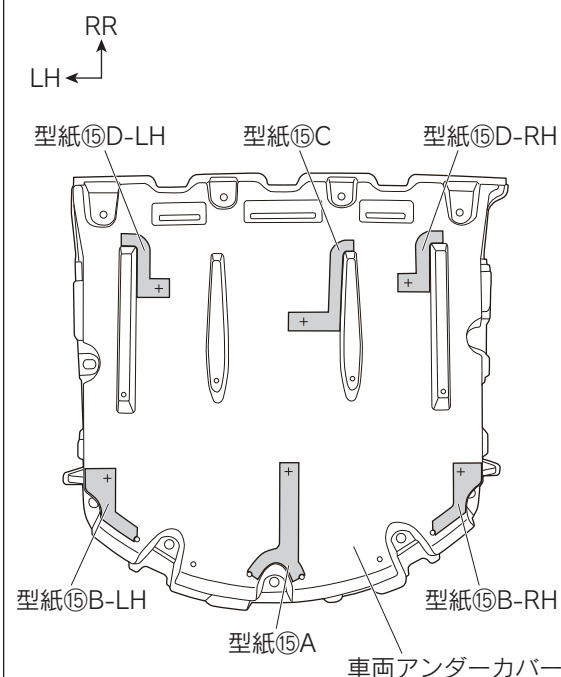
1. 該当車両の整備書に従い、車両からリヤバンパー、アンダーガーニッシュ、キックセンサー、アンダーカバー、リフレクター（左右）、テールパイプ（左右）を取外す。
 ※ハイブリッド車の場合は、アンダーガーニッシュからメッキガーニッシュを取外す。

△注意：取外した車両部品、車両スクリュー、車両クリップ等は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意：ハイブリッド車のアンダーガーニッシュのメッキガーニッシュは再取付け出来ません。

2. 図6のように車両アンダーカバーに型紙⑮A、B、C、Dを貼付ける。(6箇所)

図6 下面視



[拡大図]

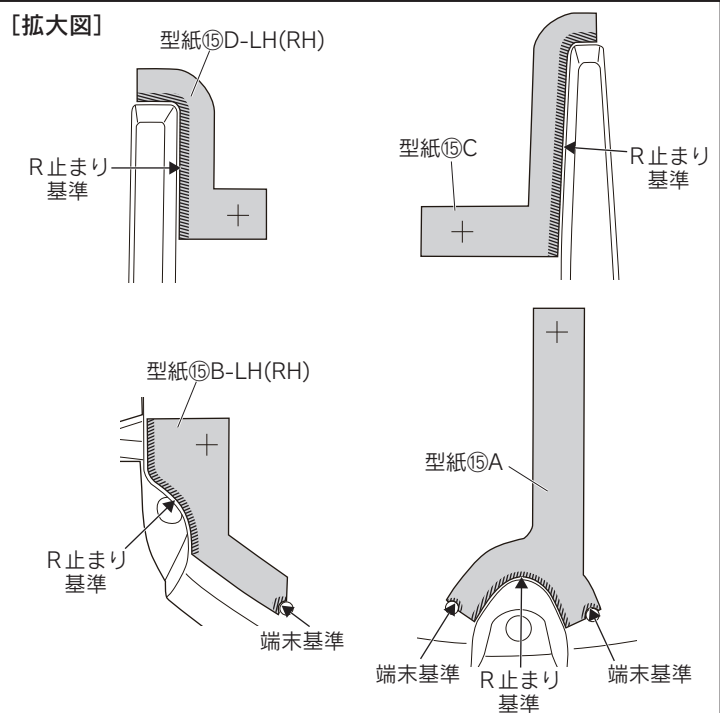
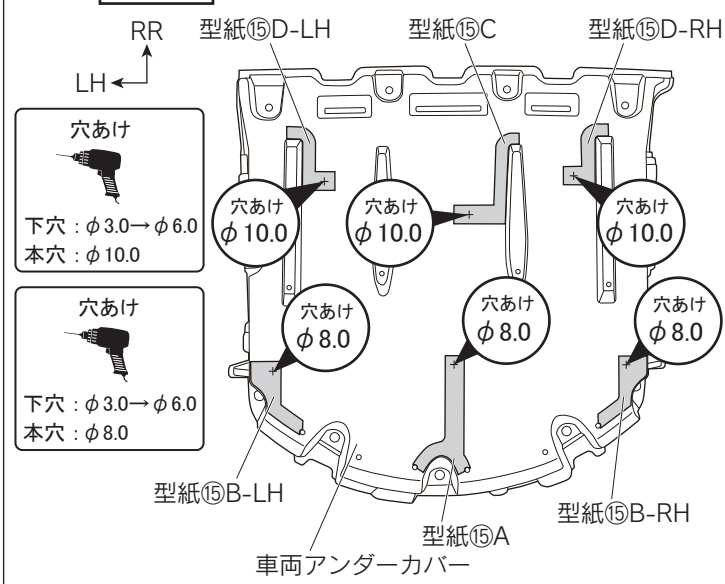


図7 下面視

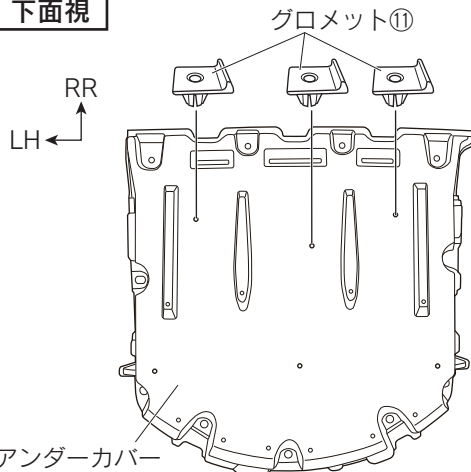


- 図7のように車両アンダーカバーの型紙⑮A、Bの穴位置に合わせて下穴を $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ の順であけ、 $\phi 8.0$ の本穴をあける。(3箇所)
- 図7のように車両アンダーカバーの型紙⑮C、Dの穴位置に合わせて下穴を $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ の順であけ、 $\phi 10.0$ の本穴をあける。(3箇所)

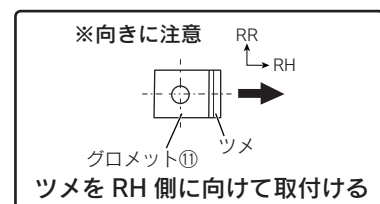
△注意:作業時は保護メガネを着用してください。

💡アドバイス:穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

図8 下面視



- 型紙⑮A、B、C、Dを剥がし、穴周囲のバリを除去する。
- 図8のようにアンダーカバーの $\phi 10$ 穴に合わせてグロメット⑪を取付ける。(3箇所)



- 該当車両の修理書に従い、アンダーカバーを車両に復元する。
- 図9のようにリヤバンパー取外し後に車両に残るリヤバンパーフィラーに指示寸法でマーキングする。(左右各1箇所)

図9 ※LH図示 左右共通作業

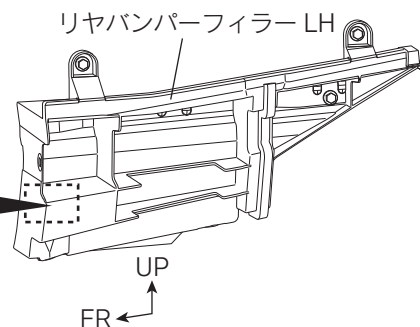
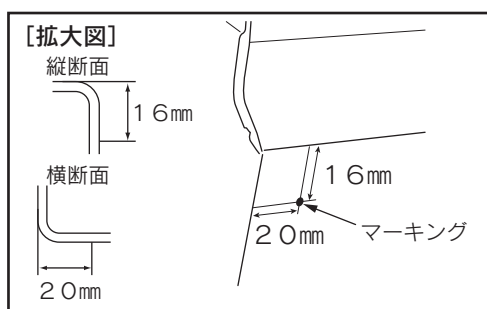
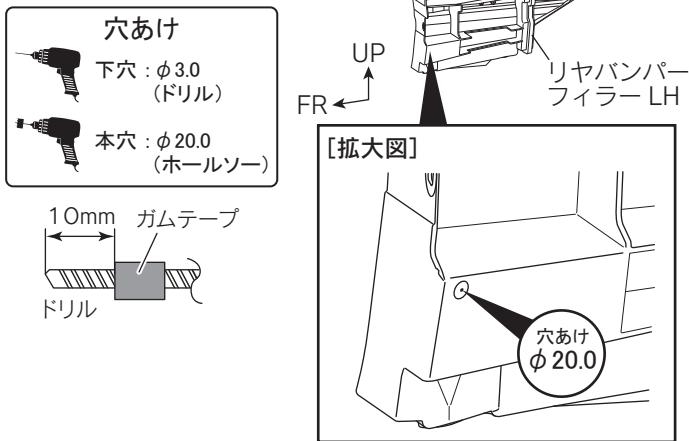


図 10 ※LH図示 左右共通作業



△注意 : 作業時は保護メガネを着用してください。

9. 図 10 のようにリヤバンパーフィラーのマーキング位置にドリルで $\phi 3.0$ の下穴をあけ、ホールソーで $\phi 20.0$ の本穴をあける。(左右各 1 箇所)
穴あけ後、穴周囲のバリを除去する。(左右各 1 箇所)

🔧 アドバイス : 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

△注意 : バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

10. 図 11 のようにリヤバンパー後面の牽引フックカバー部に型紙⑮E を貼付け、型紙合わせ位置に合わせて型紙⑮F を貼付ける。(左右各 1 箇所)

図 11 後面視 ※LH図示 左右共通作業

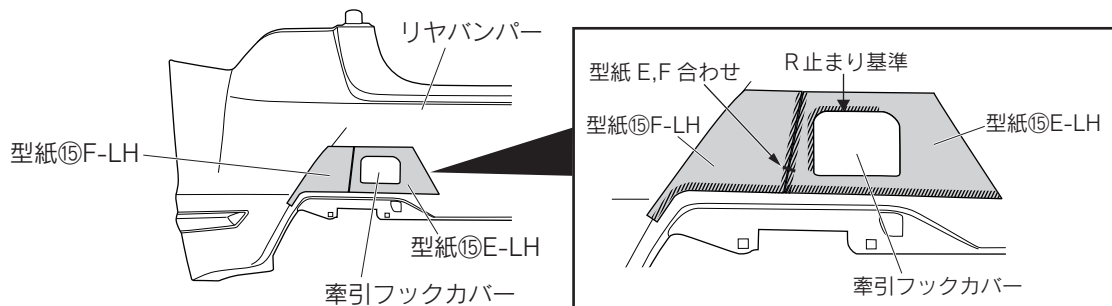
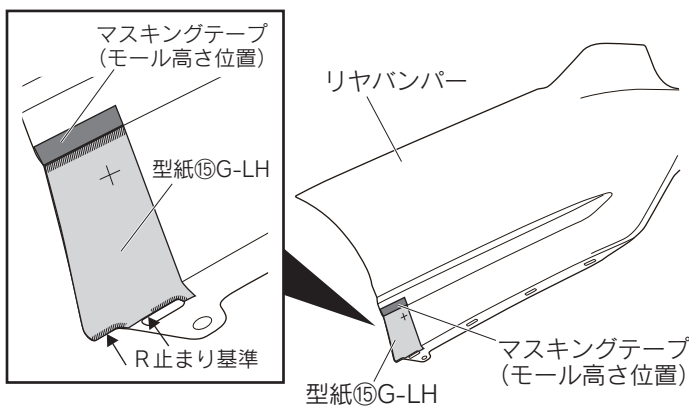
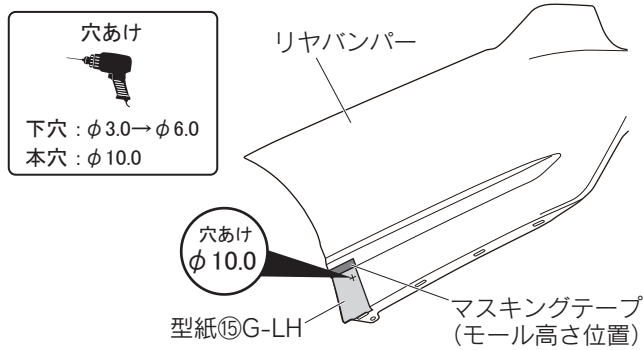


図 12 側面視 ※LH図示 左右共通作業



11. 図 12 のようにリヤバンパー側面に型紙⑮G を貼り付け、取付け高さ位置にマス킹テープを貼り付ける。(左右各 1 箇所)

図 13 **側面視** ※ L H 図示 左右共通作業

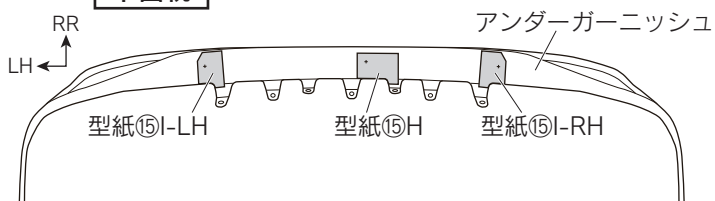
△注意:作業時は保護メガネを着用してください。

12. 図 13 のようにリヤバンパー側面の型紙⑮G の穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0 の順であけ、φ10.0 の本穴をあける。(左右各1箇所)

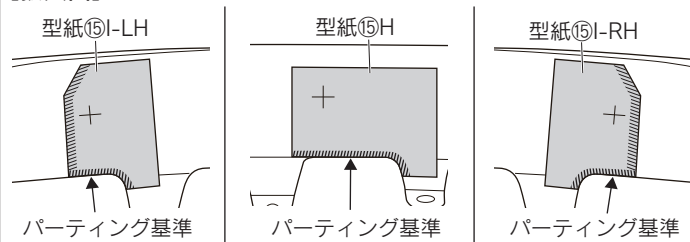
穴あけ後、型紙⑮G を剥がし、穴周囲のバリを除去する。

※取付け高さマーキングは剥がさないでください。

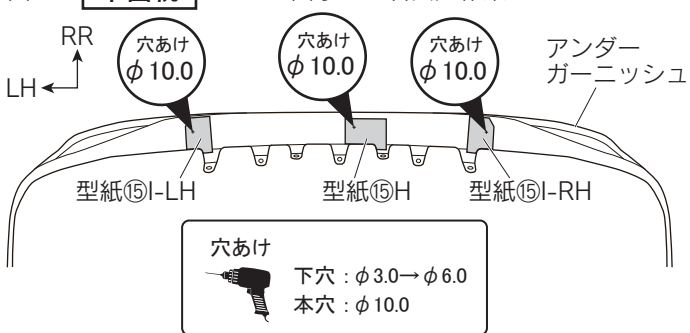
🔧 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

図 14 **下面視** ※ L H 図示 左右共通作業

[拡大図]



13. 図 14 のようにアンダーガーニッシュ下面に型紙⑮H、I を貼り付ける。(3箇所)

図 15 **下面視** ※ L H 図示 左右共通作業

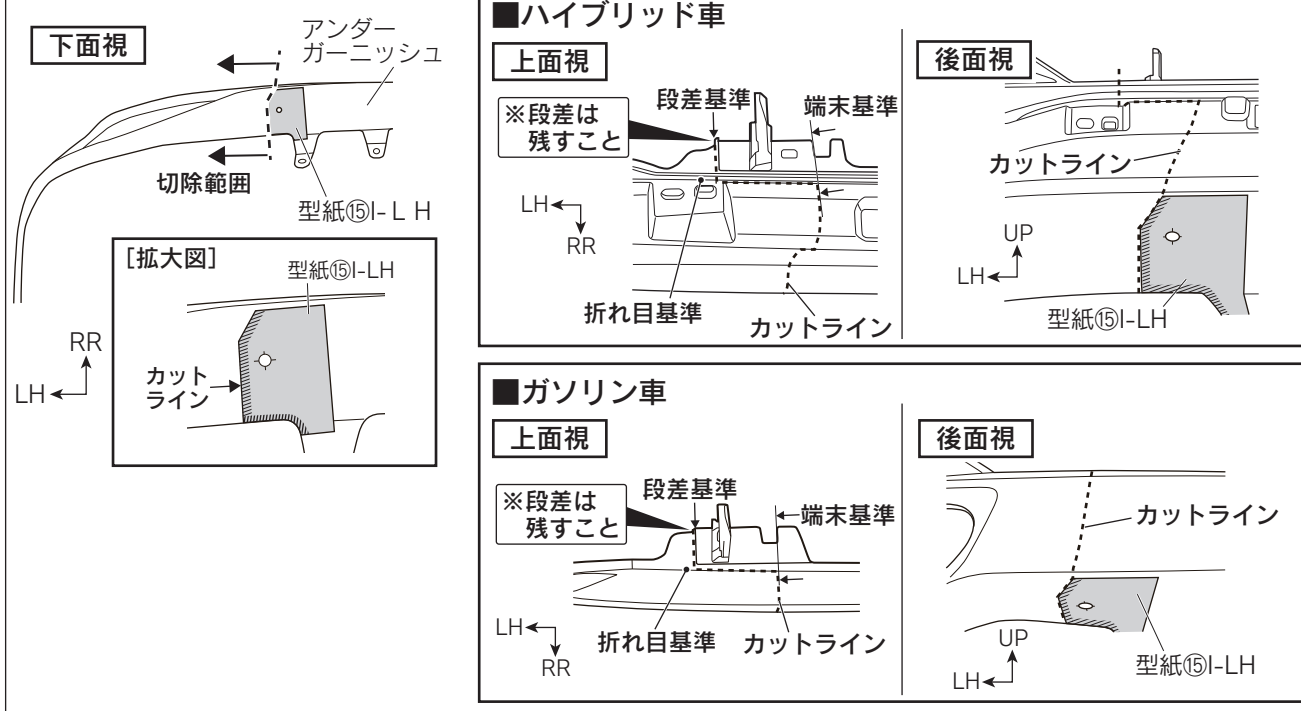
14. 図 15 のようにアンダーガーニッシュ下面の型紙⑮H、I の穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0 の順であけ、φ10.0 の本穴をあける。(3箇所)

△注意:作業時は保護メガネを着用してください。

🔧 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

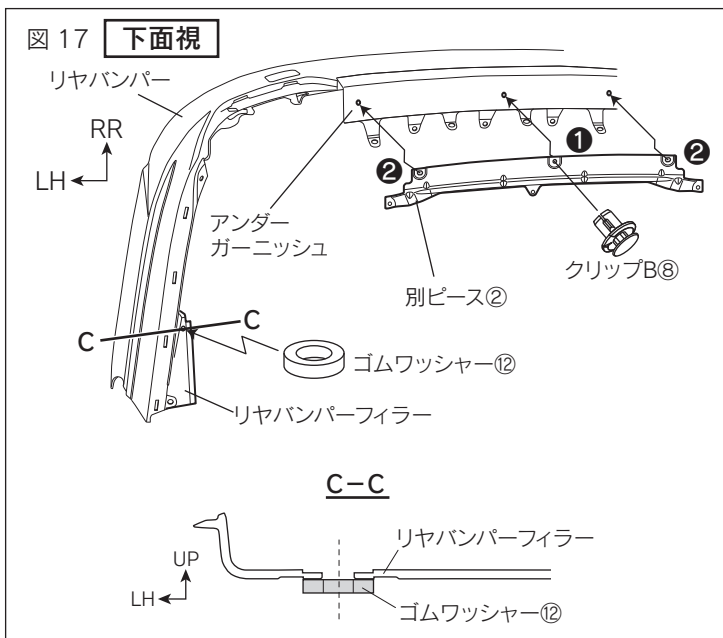
15. 図 16 のようにアンダーガーニッシュ上部を下図要領でマーキングし、下面の型紙⑮I のカットラインと結び、切除加工する。(左右各 1 箇所)

図 16 ※LH 図示 左右共通作業



16. 型紙⑮H、I を剥がし、加工穴および切除部周囲のバリを除去する。

17. 該当車両の修理書に従い、リアバンパーにアンダーガーニッシュ、キックセンサーを取付け後、リアバンパーを車両に復元する。



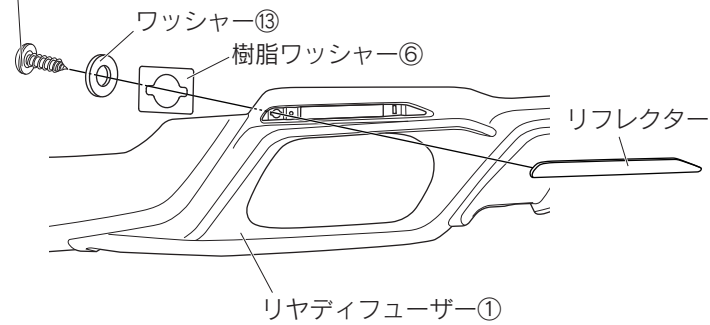
18. 図 17 のように車両に別ピース②をクリップ B⑧(3 箇所) で固定する。

※①中央→②左右の順で固定してください。

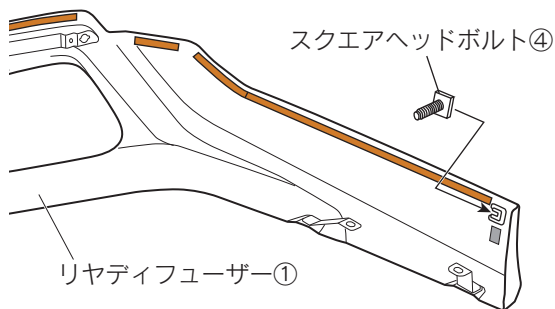
19. 図 17 のようにリアバンパーフィラーにゴムワッシャー⑫の離型紙を剥がし、穴部に貼付ける。(左右各 1 箇所)

図 18 ※L H図示 左右共通作業

車両スクリュー※再使用



20. 図 18 のようにリヤディフューザー①にリフレクターを車両スクリューにワッシャー⑬、樹脂ワッシャー⑥を通して固定する。(左右各 1 箇所)

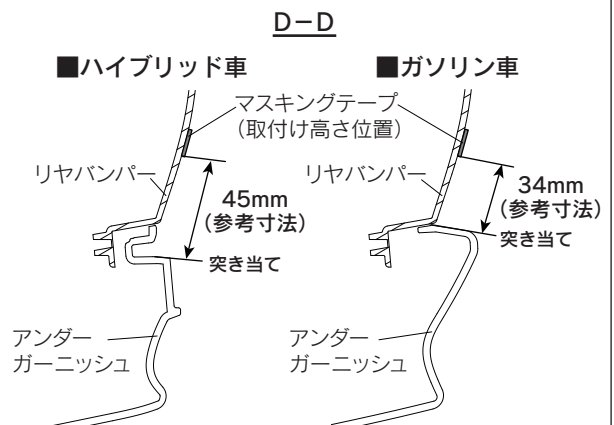
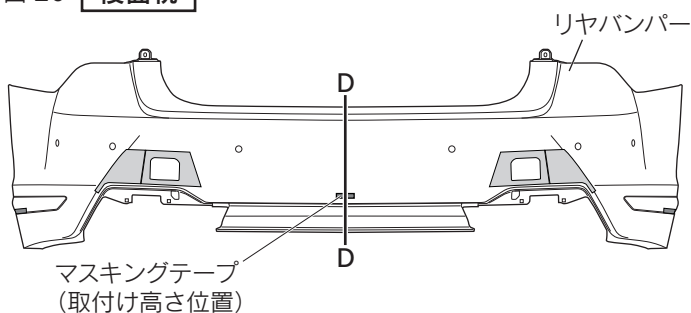
図 19 **裏面視** ※L H図示 左右共通作業

21. 図 19 のようにリヤディフューザー①裏面にスクエアヘッドボルト④を取付ける。(左右各 1 箇所)

※本取付・取扱要領書は、主にL H側を示しており、R H側も同様に行ってください。

□ リヤディフューザー取付要領

- 図 20 のようにリヤバンパー後面中央に取付け高さ位置（モール上端位置）を図示寸法で計測し、マスキングテープを貼付ける。（1 箇所）

図 20 **後面視**

2. 図 21 のようにリヤバンパー側面と後面の取付け高さマーキングおよび型紙⑮E、F の取付け高さ位置に合わせてリヤディフューザー①をあて、側面をクリップナット⑤(左右各 1 箇所)、下面をクリップ B⑧(3 箇所)、クリップ C⑨(左右各 2 箇所) で固定する。

図 21 ※LH 図示 左右共通作業

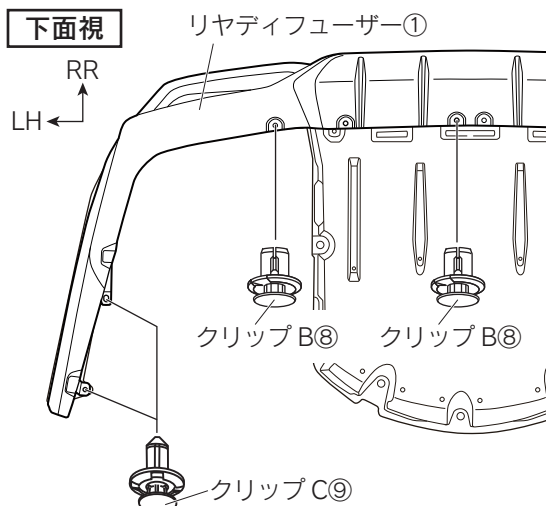
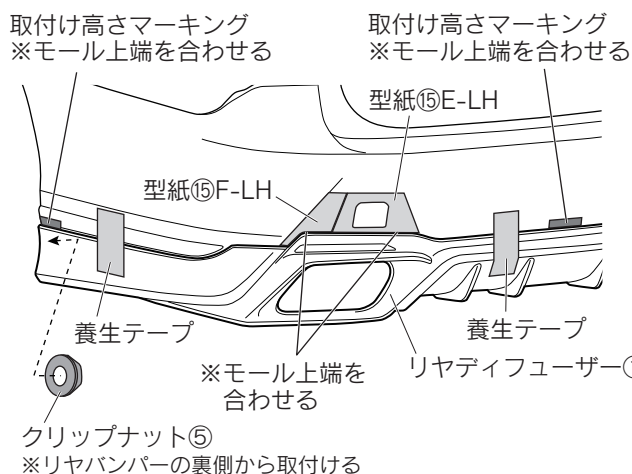
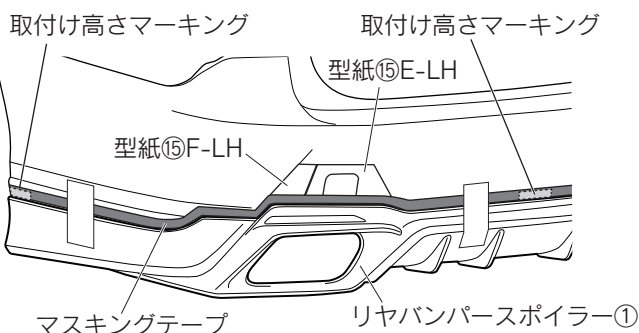


図 22 ※LH 図示 左右共通作業



3. 図 22 のようにリヤディフューザー①の端末（モール貼付け部はモール上端）に合わせてリヤバンパーにマスキングテープを貼付ける。

△注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

4. クリップ B⑧(3 箇所)、クリップ C⑨(左右各 2 箇所)、クリップナット⑤(左右各 1 箇所) を取外し、リヤディフューザー①を取外す。

5. 図 23 のようにリヤディフューザー①の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA 又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、10 分程度乾燥させてください。

図 23 ※LH 図示 左右共通作業

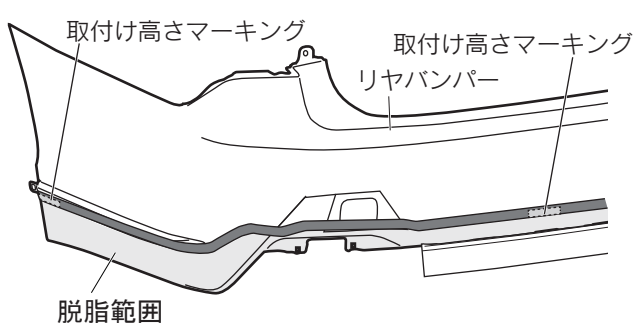
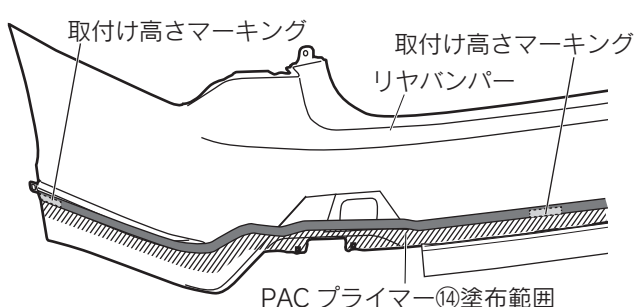


図 24 ※LH 図示 左右共通作業



6. 図 24 のようにリヤディフューザー①の両面テープ貼付け部（左図斜線部）に PAC プライマー⑭を塗布する。

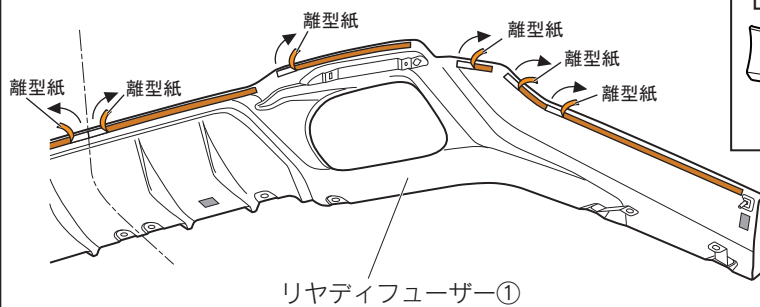
△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンや IPA 等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

7. マスキングテープを剥がす。

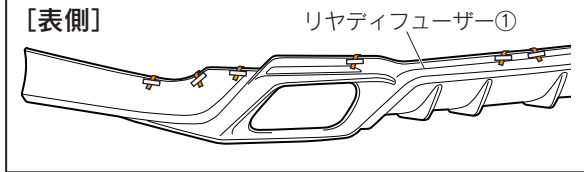
※型紙⑮E、F および取付け高さマーキングは剥がさないでください。

8. 図 25 のようにリヤディフューザー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各5箇所)

図 25 ※L H図示 左右共通作業



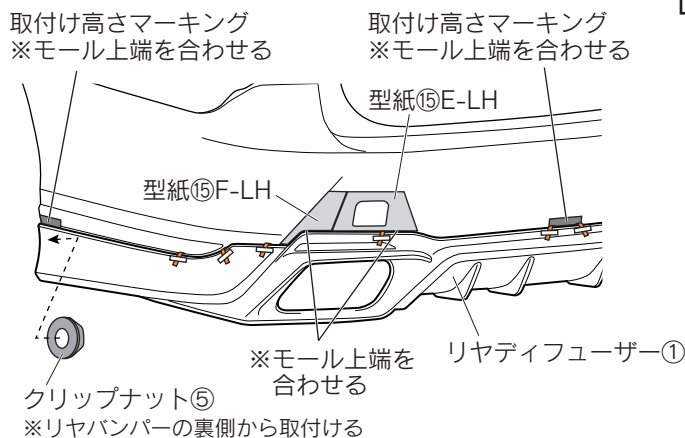
[表側]



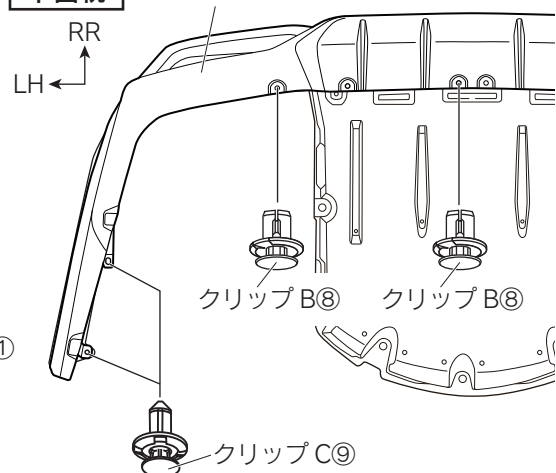
△注意 :両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

9. 図 26 のようにリヤバンパー側面と後面の取付け高さマーキングおよび型紙⑮E、F の取付け高さ位置に合わせてリヤディフューザー①をあて、側面をクリップナット⑤(左右各1箇所)、下面をクリップB⑧(3箇所)、クリップC⑨(左右各2箇所) で固定する。

図 26 ※L H図示 左右共通作業

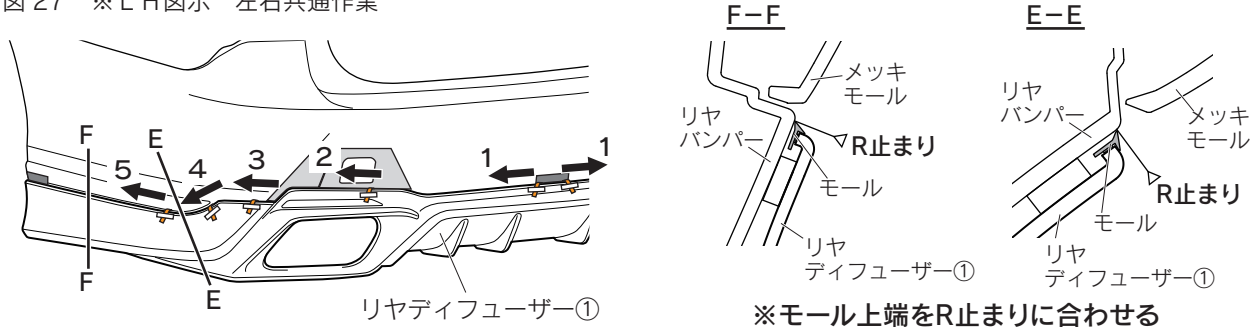


下面視



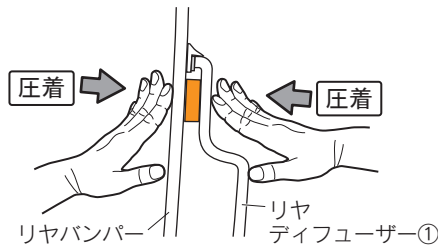
10. 図 27 のように取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。(左右各5箇所)

図 27 ※LH図示 左右共通作業



👉 アドバイス:

圧着の際は、リアバンパー裏側に手を入れて表裏双方からしっかりと圧着してください。



⚠ 注意: 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。



アドバイス

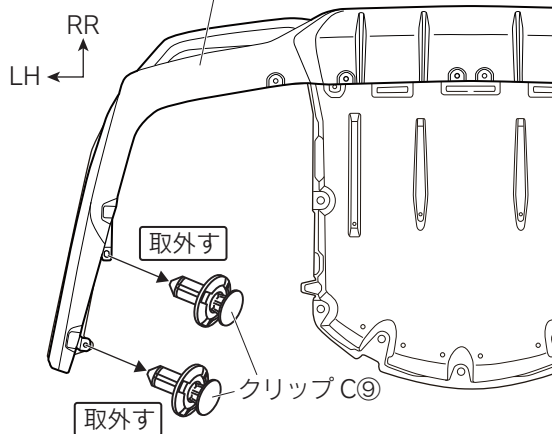
両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。



警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

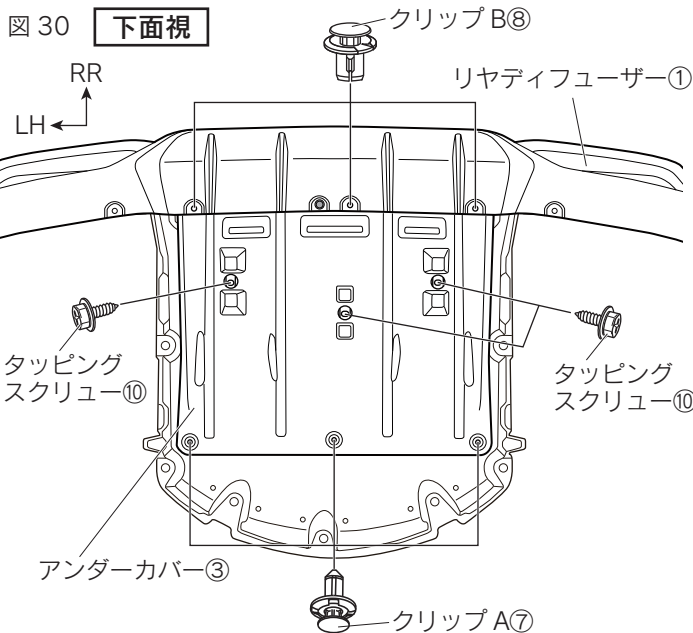
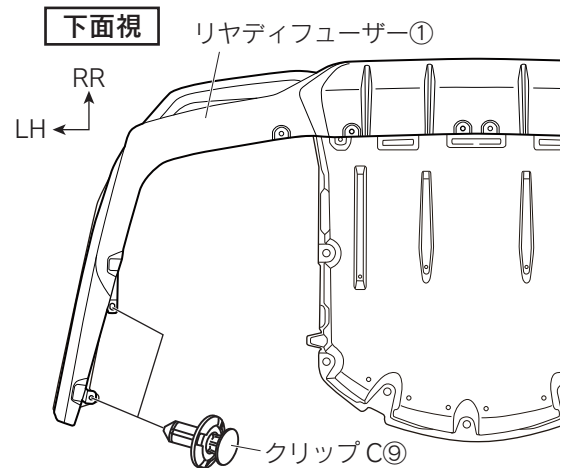
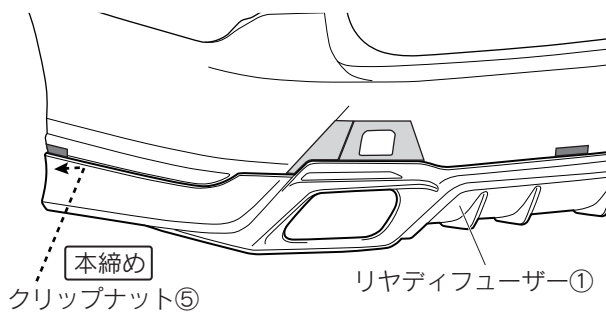
図 28 下面視 ※LH図示 左右共通作業
リアディフューザー①



11. 図 28 のようにリアディフューザー①下面のクリップ C⑨を取外す。(左右各2箇所)

12. 図 29 のように側面のクリップナット⑤を本締めし（左右各 1 箇所）、リヤディフューザー①下面をクリップ C⑨で固定する。（左右各 2 箇所）

図 29 ※ L H 図示 左右共通作業



13. 図 30 のように車両下面にアンダーカバー③をあて、クリップ B⑧(3箇所)、クリップ A⑦(3箇所)、タッピングスクリュー⑩(3箇所)で固定する。

14. 型紙⑮E、F（左右各 2 箇所）、取付け高さマーキング（3箇所）を剥がす。

※TRD スポーツマフラーをスポーツマフラー付属の取付・取扱要領書に従い取付けてください。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤディフューザー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

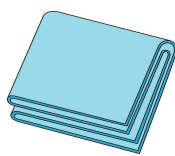


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



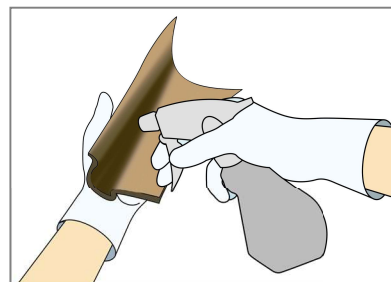
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

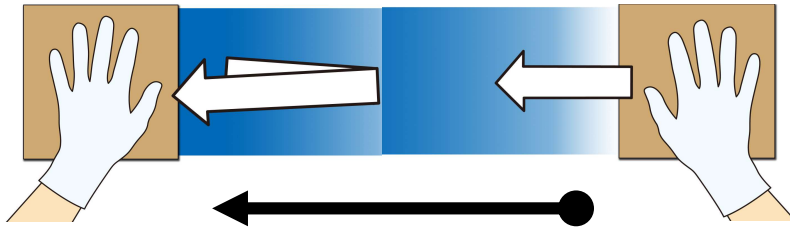
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

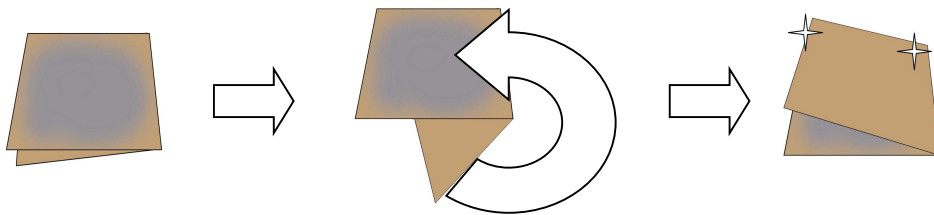
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。